



平成18年10月27日

各位

会社名 東京急行電鉄株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 越村敏昭  
 (コード番号 9005 東証第1部)  
 問合せ先 財務戦略室 主計部  
 連結・IR担当課長 松本泰郎  
 (TEL 03-3477-6168)

中間期業績予想(単独・連結)の修正および剰余金の配当に関するお知らせ

1. 平成18年9月中間期業績予想(単独)の修正について

(1) 平成18年9月中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の単独業績予想については、下表の通り、平成18年5月15日公表の業績予想を修正いたします。

平成18年9月中間期単独業績予想(平成18年4月1日～平成18年9月30日)  
 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	119,600	19,400	6,700
今回修正予想(B)	124,300	21,000	12,200
増減額(B-A)	4,700	1,600	5,500
増減率(%)	3.9	8.2	82.1
(ご参考)前年同期実績 (平成17年9月中間期)	115,173	32,022	14,280

(2) 上記修正の理由は以下の通りであります。

平成18年9月中間期は、売上高1,196億円、経常利益194億円、中間純利益67億円を予想しておりましたが、固定資産除却費が増加したことにより鉄軌道事業の営業利益が予想を下回ったものの、不動産販売事業において建売住宅および集合住宅の分譲が計画を上回り増収増益となったほか、不動産賃貸事業でも増収増益となり、売上高は47億円増収の1,243億円、営業利益は前回予想と同額の240億円、経常利益は営業外収益の増加により16億円増益の210億円、中間純利益は固定資産売却益等の特別利益が増加し、55億円増益の122億円となる見込みであります。

2. 平成18年9月中間期業績予想(連結)の修正について

(1) 平成18年9月中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の連結業績予想については、下表の通り、平成18年5月15日公表の業績予想を修正いたします。

平成18年9月中間期連結業績予想(平成18年4月1日～平成18年9月30日)  
 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	667,000	31,000	21,000
今回修正予想(B)	667,000	33,000	27,000
増減額(B-A)	-	2,000	6,000
増減率(%)	-	6.5	28.6
(ご参考)前年同期実績 (平成17年9月中間期)	681,314	34,219	9,022

(2) 上記修正の理由は以下の通りであります。

平成18年9月中間期は、売上高6,670億円、経常利益310億円、中間純利益210億円を予想しておりましたが、主に当社の増益により、前回予想に比べて経常利益は20億円増益の330億円、中間純利益は60億円増益の270億円となる見込みであります。

### 3. 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成18年10月27日開催の取締役会において、下記のとおり平成18年9月30日を基準日とする中間配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせします。

#### (1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成18年5月15日公表)	前期実績 (平成18年3月期)
基準日	平成18年9月30日	同左	平成17年9月30日
1株当たり配当金	3円00銭	2円50銭	2円50銭
配当金の総額	3,556百万円	—	2,949百万円
効力発生日	平成18年12月7日	—	平成17年12月9日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### (2) 理由

当社は、安定配当の継続を基本方針として、昭和58年3月期より1株につき年5円の配当を維持してまいりました。平成19年3月期の配当は、従来からの安定配当継続の方針を踏まえつつ配当性向を勘案し、1株につき年5円50銭（中間2円50銭、期末3円）を予定しておりましたが、業績の状況等を総合的に勘案し、中間配当を50銭増配の3円とし、年間配当予想を6円に修正いたします。

(参考) 配当予想は次の通りとします。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
配当予想		3円00銭	6円00銭
当期実績	3円00銭		
前期実績 (平成18年3月期)	2円50銭	2円50銭	5円00銭

以上